農林土木工事特記仕様書（令和7年7月1日以降適用）

（農林土木工事共通仕様書の適用）

第1条 本工事は、徳島県農林水産部「徳島県農林土木工事共通仕様書令和6年10月」に基づき実施しなければならない。ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改定された最新のものとする。

なお、工事途中で改定された場合は、この限りでない。

（農林土木工事共通仕様書に対する変更仕様事項）

第2条 「徳島県農林土木工事共通仕様書 令和6年10月」に対する特記事項は、次のとおりとする。

（共通仕様書の読み替え）【変更】

「1-1-1-24 建設副産物」において、「建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）」とあるのは「コブリス・プラス」と読み替えるものとする。

（現場代理人及び主任技術者等）【変更】

1-1-1-15 現場代理人及び主任技術者等

1. 選任通知

(4) 受注者は、選任通知書に次のものを添付しなければならない。

② 監理技術者を選任した場合（下請金額の総額が5,000万円以上）は、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証（それぞれ表、裏とも）

（しゅん工標）【追加】

1-1-1-57 しゅん工標の設置

受注者が希望する場合、次の工事（構造物）を対象に工事に携わった技術者の氏名を標柱（様式第2号）または標板（様式第3号）に記すことができる。

対象工事（構造物）：擁壁、カルバート、橋梁上部工、橋梁下部工、トンネル、堰（頭首工）、水門、樋門（樋管）、砂防堰堤、治山ダム、シェッド、法面、（揚）排水機場

対象技術者：監理（主任）技術者氏名

（工事成績評定の選択制）

第3条 当初請負額が500万円以上、3,000万円未満の指名競争入札及び一般競争入札（価格競争）並びに随意契約により発注する請負工事、変更請負額が増額により500万円以上となった工事は、別に定める「工事成績評定の選択制試行要領」を適用する。

2 前項の対象工事の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「工事成績評定に関する意向確認書」（以下「意向確認書」という。）を発注者契約担当に提出しなければならない。

3 受注者は、工事成績が格付を定める場合の主観点数の算定及び総合評価落札方式の評価項目等に活用されていることを踏まえ、工事成績評定の選択を適切に判断の上、意向確認書を提出するものとする。

4 施工途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、しゅん工時、契約変更により請負額が500万円未満となった場合は、評定は行わないものとする。

5 受注者が評定の実施を希望しない場合であっても、次のいずれかに該当した場合は、評定を行うものとする。

(1) 徳島県工事検査規程第7条の補修工事の請求又は第8条の簡易な修補の指示が行わ

れた場合

- (2) 工事成績表の考査項目別運用表「別紙－２④『７．法令遵守等』」又は、考査項目別運用表（公共建築工事）「別紙－２⑤『８．法令遵守等』」の評価事例に該当する行為が行われた場合
- (3) 監督員等から文書により改善指示が行われた場合

工事成績評定の選択制試行要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5037327/>

（１日未満で完了する作業の積算）

- 第４条** １日未満で完了する作業の積算（以下、「１日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。
- ２ 受注者は、別に定める「１日未満で完了する作業の積算（農林土木）」の別表に掲載されている施工パッケージ単価において、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、１日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
 - ３ 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて１日作業となる場合には、１日未満積算基準は適用しない。
 - ４ 受注者は、協議に当たって、１日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要となる根拠資料（日報、見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、１日未満積算基準は適用しない。
 - ５ 災害復旧工事等で人工精算する場合、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して積算する場合等、１日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、１日未満積算基準を適用しない。

１日未満で完了する作業の積算について（農林土木版）

徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/5052994/>

（現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）の対象工事）

- 第５条** 本工事は、現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）の適用対象工事である。
- ２ 受注者は、現場環境の改善を目的に、熱中症対策等を実施する場合は、「現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）計画書」を提出し、監督員と協議を行うことができる。なお、協議が整い、対策を実施した場合、「現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）に係る積算要領」に基づく設計変更の対象とする。

現場環境改善費（熱中症対策・防寒対策）に係る積算要領（農林水産部版）

徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/7304457/>

（資材価格高騰に対する特例措置）

- 第６条** 本工事は、資材価格高騰に対する特例措置の対象工事である。
- ２ 本工事は、当初契約締結後において、設計単価を単価適用月から当初契約月に変更するものとする。

（仮設トイレの洋式化）

- 第７条** 受注者は、仮設トイレを設置する場合、原則として「快適トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用ト

イレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。なお、特段の理由がある場合はこの限りでない。

2 受注者は、設計図書の変更までに、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。

- ・洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化した仮設トイレのこと。
- ・快適トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施錠の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。

（建設現場の遠隔臨場に関する試行工事【発注者指定型】）

第8条 本工事は、農林土木工事において遠隔臨場の実施を原則とする「建設現場の遠隔臨場の試行工事（発注者指定型）」の対象工事であり、次の URL にある「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領」を適用することとする。

建設現場の遠隔臨場に関する試行要領（農林水産部版）について
徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/5049014/>

（情報共有システム活用工事【発注者指定型】）

第9条 本工事は、情報共有システムの活用を原則とする「情報共有システム活用工事（発注者指定型）」の試行工事である。

2 対象工事等は、次のURL にある「農林土木事業における情報共有システム活用試行要領」を適用することとする。

農林土木事業における情報共有システム活用試行要領について【農林水産部】
徳島県CALS/EC HP
<https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/nourinjyouhoukyouyuu/>

（CCUS活用推奨モデル工事）

第10条 本工事は、技能者の処遇改善及び中長期的な技能者の確保等を目的とした「建設キャリアアップシステム活用モデル工事（CCUS活用推奨モデル工事）」であり、次の URL にある「建設キャリアアップシステム活用モデル工事実施要領」を適用することとする。

建設キャリアアップシステム活用モデル工事実施要領（農林）
徳島県 HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/7216242/>

（本工事の特記仕様事項）

第11条 本工事における特記仕様事項は、次のとおりとする。

（本工事における特記仕様事項を記載）

その他特記仕様書

1-1 目的

本工事目的は、六條3期地区 六條排水機場におけるポンプ設備及び補機設備を補修することにより、施設の機能保全を図るものとする。

1-2 工事場所

徳島県板野郡上板町(六條排水機場)

1-3 工事概要及び各仕様

(1) No. 2主ポンプ用原動機	1台	更新製作のみ
(2) No. 2主ポンプ盤	1面	更新製作のみ
(3) No. 2補器動力盤	1面	更新製作のみ
(4) No. 2主ポンプ機側操作盤	1面	更新製作のみ

(1) No. 2主ポンプ用原動機

1. 整備内容

更新製作

2. 仕様

型式	単動4サイクル水冷式ディーゼル機関		
数量	1台		
定格出力	184kw		
定格回転数	1000min-1		
始動方式	圧縮空気方式		
燃料油	A重油		
冷却方式	放水冷却式		
防振方式	リジット方式(防振無し)		
回転方向	ポンプ側よりエンジンを見て左		
その他仕様			
高弾性継手			1式
機関出入り口フレキ			
	空気	20A	1本
	燃料	15A	1本
	冷却水	50A	2本
	排気	125A	1本
遠心クラッチ			1式
排気消音器	出口1mにて	75dB(A)以下	1式
冷却水温調弁	50A		1式
フローリレー	50A		1式
サイフォンブレーカー			1式

3. 特記事項

更新製作(製作のみ)

(2) No. 2主ポンプ盤

1. 整備内容

更新製作

2. 仕様

型式	屋内鋼板製低圧閉鎖配電盤
数量	1面
準拠規格	JEM-1265
寸法	700W×2350H×840D程度

盤面取付器具

盤名称銘板	1式
開度指示計	1個
運転時間計	1個
集合表示灯	1式
切換開閉器	2個
操作開閉器（2点操作）	1個
操作開閉器（3点操作）	1個
照光式押釦開閉器	1式
押釦開閉器	1式
扉用ハンドル	1式

盤内収納機器

配線用遮断器 2P 30AF	4個
補助継電器類	1式
端子台及び内部配線	1式
その他必要なもの	1式

3. 特記事項

更新製作（製作のみ）

(3) No. 2補器動力盤

1. 整備内容

更新製作

2. 仕様

型式	屋内鋼板製低圧閉鎖配電盤	
数量	1面	
準拠規格	JEM-1265	
寸法	700W×2350H×840D程度	
盤面取付器具		
盤名称銘板		1式
水位指示計(既設流用)		3個
集合表示灯		1式
押釦開閉器		1式
扉用ハンドル		1式
盤内収納機器		
配線用遮断器	3P 100AF	2個
	3P 50AF	3個
	2P 50AF	1個
	2P 30AF	1個
漏電継電器	3P 50AF	2個
2E継電器		2個
熱動継電器		5個
電磁接触器		12個
コンデンサ		7台
計器用変流器		6個
補助継電器類		1式
端子台及び内部配線		1式
その他必要なもの		1式

3. 特記事項

更新製作(製作のみ)

(4) No.2主ポンプ機側操作盤

1. 整備内容

更新製作

2. 仕様

型式 屋内鋼板製スタンド形
数量 1面
寸法 700W×900H×350D程度(箱体部)

盤面取付器具

盤名称銘板	1式
開度指示計	1個
電流計	2個
集合表示灯	1式
切換開閉器	2個
操作開閉器(2点操作)	1個
操作開閉器(3点操作)	1個
照光式押釦開閉器	1式
押釦開閉器	1式
扉用ハンドル	1式

盤内収納機器

スペースヒータ	1個
端子台及び内部配線	1式
その他必要なもの	1式

3. 特記事項

更新製作(製作のみ)

1-4 工事電力及び用地等

本工事の施工に必要な電力及び施設は、請負者の負担とする。

1-5 適用規格等

本工事を施工する際には下記規格、基準、法規等を遵守すること。

- (1) 施設機械工事等施工管理基準
- (2) 土地改良事業計画設計基準（ポンプ場）
- (3) 電気設備計画設計技術指針（高低圧編）
- (4) 水管理制御方式技術指針（ポンプ場編、畑地かんがい編）
- (5) 日本工業規格（JIS）
- (6) 電機規格調査会標準規格（JEC）
- (7) 日本電気工業会標準規格（JEM）
- (8) その他関係法規及び各種条例、物価本等

1-6 提出書類

提出書類の部数は下記のとおりとする。

(1) 承認図書	2部
(2) 完成図書	2部
(3) その他協議資料等	監督職員の指示による

1-7 検測または確認

受注者は、この工事の検測又は確認を下記の段階で受けなければならない。この他に必要と認められる場合は、監督員と協議により決定すること。

(1) 工場検査

本工事においては、単体部品が対象のため、性能証明書等の提出により確認する。

（該当工種：No.2主ポンプ用原動機、No.2主ポンプ盤、No.2補器動力盤、
No.2主ポンプ機側操作盤）